

社会資本総合整備計画

神戸須磨地区都市再生整備計画

平成 23 年 3 月 25 日

兵庫県神戸市

都市再生整備計画(第3回変更)

こうべ すま
神戸須磨地区

ひょうご こうべし
兵庫県 神戸市

平成23年3月

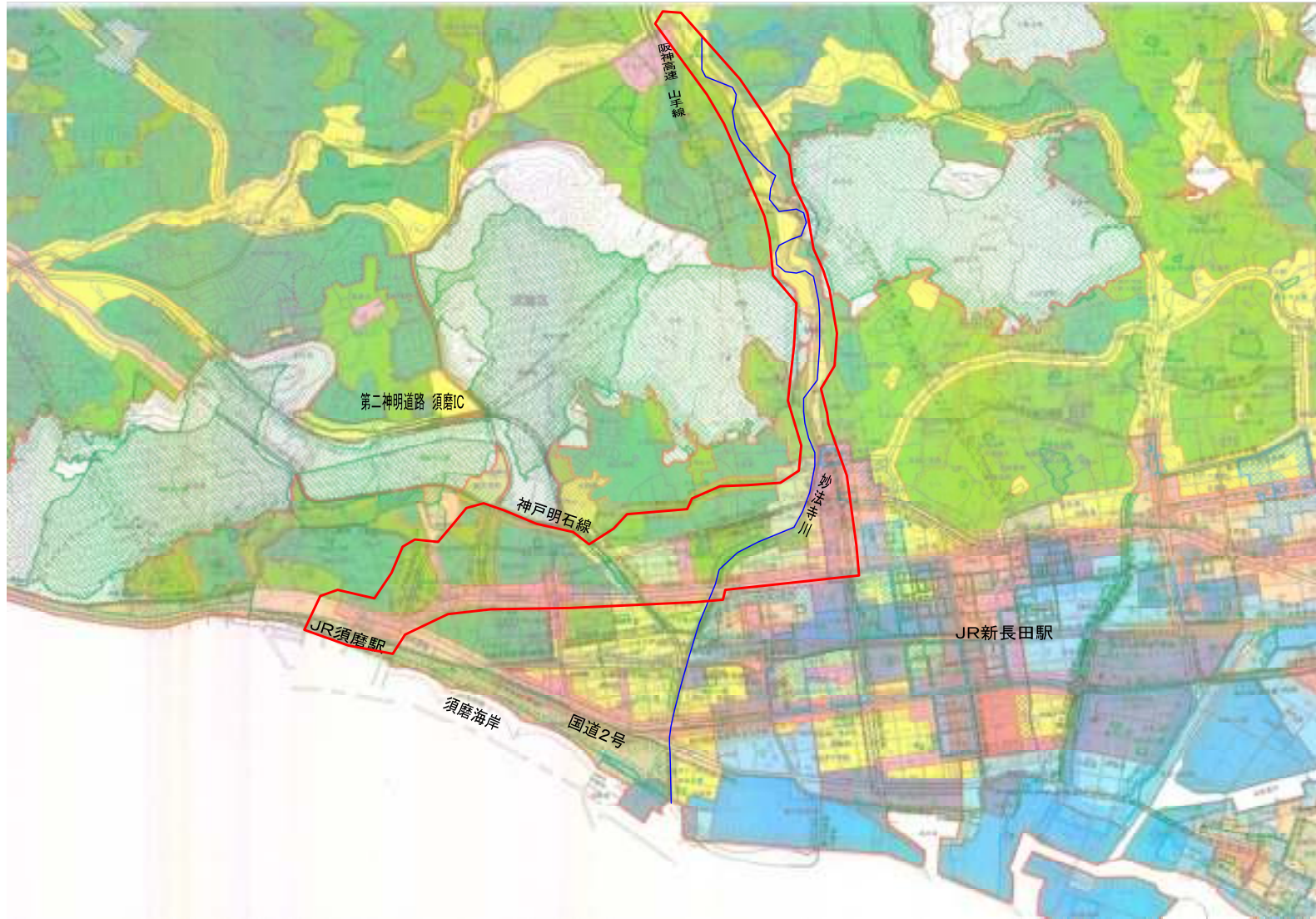
・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針①（震災復興街路事業の推進） 震災の教訓をふまえ、災害に強く安心して暮らせるまちづくりを進めるために、また、日常生活や都市活動に必要な道路としてはもちろん、火災の延焼防止や避難路、救援・救助活動のため、さらに、市街地の道路ネットワークを確立するために、須磨多聞線の整備を進める。</p>	<p>道路(都市計画道路須磨多聞線)</p>
<p>整備方針②（既存市街地と郊外のニュータウンを結ぶ幹線道路の整備による道路ネットワークの強化） 神戸の西部市街地から郊外のニュータウンを結ぶ幹線道路として、県道神戸三木線があるが、道路幅員が狭いため、交差点で右折レーンを設置できず著しい渋滞が発生している。また、沿道の妙法寺小学校の通学路であるにもかかわらず、十分な歩道が整備されていない。円滑な市民活動を支えるため、また、歩行者にとっても安全な道路とするため、垂水妙法寺線の整備を進める。</p>	<p>道路(都市計画道路垂水妙法寺線) 関連事業(垂水妙法寺線外1線改良事業)</p>
<p>整備方針③（道路整備とあわせた快適な沿道環境の創出） 須磨多聞線、垂水妙法寺線の整備にあわせて、周辺の住民、歩行者が憩える空間を整備する。 須磨多聞線の沿道では、古来の須磨の里長であった前田氏の館の跡で、菅原道真が立ち寄った際に植えたと伝えられる松など史跡的な価値のある場所にポケットパークを整備する。 垂水妙法寺線の沿道では妙法寺川と道路に囲まれた区域を河川景観と調和した河川沿い公園として整備し、周辺の山林を散策するハイキングの歩行者などが立ち寄れるような空間を創出する。</p>	<p>地域生活基盤施設(須磨多聞線周辺での史跡を活かした広場 1ヶ所) 地域生活基盤施設(垂水妙法寺線周辺での河川景観と調和した広場 1ヶ所)</p>
<p>整備方針④（歴史の資源を活かしたまちづくり） 須磨の誇りである史跡などの魅力資源を区民一人ひとりが認識し、地域への愛着度が高め、また、それらを広くPRすることで地域の魅力を発信する。 須磨多聞線周辺の「須磨寺」「綱敷天満宮」、垂水妙法寺線周辺の「那須の与市の墓」「那須神社」「萩の寺」などの史跡への案内の充実やアクセスの向上を図り、来訪者の増加を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設(情報板) (史跡などへの案内サインの設置 14ヶ所)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成14年に、垂水妙法寺線について沿道の3自治会連名で「早期の垂水妙法寺線の整備を求める要望書」が提出され、それを受けて平成15年度に事業着手した。 案内サインについては平成17年に策定された「須磨区中期ビジョン」で位置づけられており、今年度から住民も参加した具体的なワークショップを進めている。 	

都市再生整備計画の区域

神戸須磨地区(兵庫県神戸市)	面積	120 ha	区域 須磨区須磨浦通、潮見台町、離宮西町、桜木町、千守町、関守町、離宮前町、行幸町、須磨寺町、月見山町、北町、南町、月見山本町、須磨本町、中島町、戸政町、大池町、寺田町、大田町、権現町、東町、平田町、戎町、飛松町、宝田町、菊池町、前池町、禅昌寺町、神撫町、板宿町、川上町、明神町、養老町、妙法寺の各一部
----------------	----	--------	--



神戸須磨地区(兵庫県神戸市) 整備方針概要図

目標	神戸の西部市街地と郊外のニュータウンを連絡する幹線道路ネットワーク整備による活力ある都市空間の創出と快適な沿道環境の整備	代表的な指標	妙法寺小前交差点渋滞長 (m)	800m (14年度) → 400m (23年度)
			駅の乗降客数 (人/年)	316,000人/年 (16年度) → 333,000人/年 (23年度)



凡 例	
	■ 基幹事業
	■ 提案事業
	○ 関連事業